

厚生連ながの

KOUSEIREN
NAGANO

Vol. **97** 2023.Oct

2 | **健康管理センター
50周年を迎えて**

4 | 当院のやさし医、たのし医、くわし医、お医者さん

6 | こちらナースステーション

7 | 介護・福祉のひろば

8 | 旬菜堂

9 | 健康相談 Q&A

10 | 佐久総合病院看護専門学校だより

11 | トピックス

「紅い散歩道」 三石 哲也
佐久総合病院佐久医療センター



健康管理センター 50周年を迎えて

健康管理センター

JA長野厚生連の健康管理活動は、行政をはじめ各機関との連携のもとに、県下に大きく広がっています。

健康管理センター 設立の経緯

始まりは1945(昭和20)年から行われた無医村地区における巡回診療(出張診療)で、それがやがて地域ぐるみの定期的集団健康管理(全村健康管理)のかたちに成長しました。特に旧八千穂村(現佐久穂町)や木島平村、旧北御牧村(現東御市)などの全村健康管理の成果が、「予防が治療にまさる」ことをはっきりと実証し、地域の健康管理活動への関心を大いに高めました。そして「せめて年に1回、総合的な健康診断を受けて、病気の早期発見、早期治療

ができるようにしてほしい」という農家組合員、特に農協婦人部を中心とした女性の声が大きく高まりました。そうした声を受け、長野県農協組織では、「健康」が人間生活の基本であり、組合員とその家族の健康を守ることが、農協活動の根幹であることを再認識し、1973(昭和48)年「組合員の健康を守る運動」に全県運動として取り組むこととなりました。その動きと



▲集団健康スクリーニングの会場

一体となり、1973年に長野県厚生連健康管理センターを設立、全県下で一斉に集団健康スクリーニングへの取り組みが始まりました。

集団健診の特徴と 受診者数の変化

集団健康スクリーニングの特徴としては、血液自動分析装置やコンピュータなどの機器をそろえ、内容を充実させたこと。人間ドックに劣らない内容でありながら、廉価で実施したことです。健康管理センター設立とともに厚生連各病院がセンター支部となつて、全病院が歩調を合わせて、同じ方式で進めたことなどがあります。その後、運動が進むにつれて、次第に行政との連携も進むようになりました。集団健康スクリーニングの

進展とともに、受診者数も増加し、1992(平成4)年度には年間10万人を超える受診者数となりました。これまでに延べ400万人が受診しています。



▲血液自動分析装置やコンピュータで検査結果を分析するスタッフ

一方、2008(平成20)年の特定健診・特定保健指導の導入により、国の政策としての健康管理は内臓脂肪に着目した生活習慣病予防に大きく舵を切り、

健診は健康保険の保険者の責任で実施されることとなりました。市町村で実施する健診受診者は減少しましたが、新たに実施する保険者もあり、現在では年間約6万人の健診を実施しています。特定保健指導は、集団健康スクリーニングと同時に生活習慣アドバイザーを実施するようになったこともあり、年間600人を超える実施者を数え、着実に成果を出しています。

雨にも風にもまけない 巡回検診隊

私たちが一貫して行なっていることは、地域を巡回して健診を実施していることです。南北200km、東西100kmにおよぶ長野県内各地で集団健康スクリーニングを実施しています。まだ薄暗い早朝に出発し、帰院は夜暗くなつてから。遠隔地での健診は宿泊を伴うこともあり、スタッフは「巡回検診隊」とも呼ばれています。冬場降雪に見舞われ、帰院したら明け方だったというエピソードもあります。



▲吹雪の健診日。時には雪でスリップするバスをみんなで押すことも

実施している 健診(検診)の種類

集団健康スクリーニングは、受診者の記入した問診票と、当日実施した測定、検査(尿検査、血液検査、心電図検査、眼底検査など)、そして医師の診察から判定を行います。独自の診断ロジックを用い、蓄積されたデータに基づき詳細な結果報告書を出しています。また集団健康スクリーニングとならんで大きな取り組みにがん検診があり

ます。胸部X-IP検診車やCT検診車による肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診などを行なっています。そのほかにも、2015(平成27)年の改正労働安全衛生法により50人以上の事業場での実施が義務づけられたストレスチェックやJA組合員の健康寿命延伸に役立てるようJA健康づくり自己チェックなどにも取り組んでいます。



▲今日の健診風景

厚生連としての 健康管理運動

当会では、事業の基本方針の第一に、「健康寿命延伸をめざ

した健康づくり・健康管理活動を着実に実践する」と掲げています。厚生連事業の一丁目一番地である健康管理活動を、健康管理センターはその第一線に立ち、今日まで50年にわたり実践してきました。

私たちの健康管理活動は、単なる健診活動だけではありません。疾病の早期発見・早期治療のための健診はもちろん基本ですが、これを軸として、農民・住民を主体とする健康を守る運動を地域に巻き起こしていくことに大きな意義があるものと考えます。その意味では、単なる「健康管理活動」ではなく、「健康管理運動」なのだと理解しています。そして、これはまさに「協同組合運動」です。

50年の節目を迎えましたが、「協同組合運動」としての「健康管理運動」はこれからも続いていきます。一つの区切りとして原点を振り返りつつ、時代に即した新たな「健康管理運動」をスタートさせるべく、これからも取り組んでまいります。

本所職員が医師へインタビュー

当院の

やさし医、たのし医、くわし医、

お医者さん

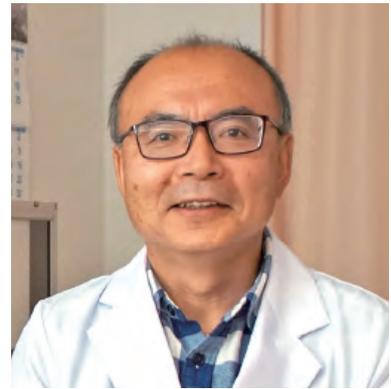
富士見高原
医療福祉センター
富士見高原病院



今回は、富士見高原病院副院長の巾芳昭先生にお話を伺いました。

Q1 出身地はどちらでしょうか

生まれは長野県松本市です。高校までは、松本にいました。山梨県の甲府で勤務していましたが、3年前に富士見に転勤



富士見高原医療福祉センター 富士見高原病院
副院長・外科部長

はば よしあき
巾 芳昭 先生

【略歴】

松本市出身、松本深志高校、福井大学医学部卒業
専門：外科一般（特に消化器外科、肝胆脾外科）

所属学会等：

日本外科学会専門医・指導医／日本消化器外科学会専門医・指導医／日本消化器がん外科治療認定医／日本がん治療認定医／日本消化器病学会専門医・指導医／日本消化器内視鏡学会専門医・指導医／日本肝臓学会専門医・指導医／日本超音波学会専門医・指導医／日本医療経営士

富士見高原病院外科の特徴：

- 消化器外科、肛門外科、一般外科、鼠経ヘルニア外科、乳腺外科の診断、手術診療、抗がん剤治療を行っています。
- 各分野の指導医、専門医を中心に専門的、高度な医療を行っています。
- がん治療に関しては、内科医、放射線科医、薬剤師、専門看護師等、多職種のスタッフによる症例検討を行い、患者さんにとっての、最善の治療を心掛けています。
- 受診いただいた後、お待たせしないように早期に手術を行います。
- 体の負担が少ない、腹腔鏡下手術を積極的に導入し、なるべく早期に退院いただけるようにしています。
- 術前には、すべての患者さんに、歯科口腔外科を受診いただき口腔内ケアを行い、術後肺炎を予防します。
- 術後、早期より積極的にリハビリを行い、早期の社会復帰をめざします。

しました。現在は甲府の自宅から45分かけて車で通っています。

Q2 医師をめざしたきっかけを教えてください

小学生の頃から医師に対する憧れがあり、中学生の頃には医師になろうと考えました。小学校の頃の文集を見ると野球選手や飛行機のパイロットなど書いてあります。飛行機のパイロットは身長が165cm以上でなければダメなのです。早々と離脱しました。医師のなかでも外科医は、自分で直接患者さん

を救えると思い外科医を選びました。

Q3 患者さんや普段の診療に際して心がけていることはありますか

ある企業の経営者が「出る杭は打たれる。しかし出過ぎた杭は打たれない、出ない杭、出ようとしない杭は、居心地は良いけど腐っていく」と書いていました。自分自身もやらなければいけないことやできることは思った時にやってみよう、という考えで、ずっとやってきました。



▲外科手術 向かって右から3番目が巾医師

外科医としては、がんの手術を中心にたくさん手術をしてきました。人が人を手術するので、すべてが100%完璧にできることばかりでなく、正直どうしても上手くいかないこともありま。基本的にその手術が上手くいかなかったのは、自分の技術が足りなかったからだと考えて、その原因はどこにあったのかと必ず掘り下げ、次の手術のときには絶対に同じことはしないように心がけてきました。

また、若い医師に指導する立場ですが、若い先生たちにも同じ考えで指導をしてきました。

Q4 富士見高原病院の 良いところを教えてください

富士見へ来て3年が経ちますが、この病院の一番の特徴は、地域の患者さんを守るという使命感がとても強いことだと思います。大きな病院に比べると、医師数が少ないですがどの先生も患者さんのことを、とても大切にしています。地域に密着し地域の方々のための医療を真剣に考えている先生が多いことが、富士見高原病院の一番の特

徴ではないでしょうか。

また、病院の規模があまり大きすぎないため、医師同士や、看護師間、検査部門などとの連携が非常に良く検査もお待たせすることなく、早くできます。例えば外科では、手術に必要な検査を早期に終わらせることができするため、お待たせすることなく迅速に手術が行えています。



▲みんなの健康教室「がんにならないための五箇条プラスワン」には、地域の方がたくさんお越し下さいました。

また、診療科の隔たりがなく、治療で困っている患者さんがいれば、医師全員のカンファレンスで治療方針を考えるみたいなところがあります。年齢を重ねると一つの疾患だけでなく複数の疾患を抱える方が多くい

らっしゃいますので、診療科を横断して一人の患者さんを診る姿勢はこの規模ならではの思っています。

Q5 好きな言葉はありますか。 また趣味も教えてください。

強いて言えば「がしんしょつたん臥薪嘗胆」です。もともとは、目的を成し遂げるために、苦勞に耐えるという意味のようですが、自分自身も、何かをやり遂げるためには、今は頑張らなきゃいけないということを、常に心に置いて

います。
趣味は、大学時代にやっていたラグビーやサッカーのスポーツ鑑賞と、高校の頃に音楽部で柄にもなく合唱をやっていたので、今でも時々東京あたりにコンサートを聴きに行ったりしています。

地域の方へ一言お願いします

この地域には、いわゆる良い人がたくさんおられると思います。医療に対しても感謝してくださる人が多く、そういう環境で働けるのは、たいへん嬉しく思っています。また、お互いを

助け合う、互助の精神を持っている方が多いので、高齢者の方も過ごしやすい環境にあるのではないのでしょうか。

最後に、富士見高原病院の理念は「遠くの親戚よりも近くの高原病院」です。

そんな病院を目指して、スツップも頑張っていますので、困った時も、困らない時も、いつでも、ご相談していただければと思います。また、当院の外科も癌の手術を中心に、治療を積極的に行っていますので、気になる症状がありましたら一度ご受診していただければと思います。ありがとうございます。

インタビューの一言

巾先生の診療に対する思い、また富士見高原病院への熱い思いが伝わってきました。短い時間でしたが、大変充実したインタビュー時間でした。お忙しいところ、ありがとうございました。



こちら ナースステーション

長野松代総合病院



長野松代総合病院



長野松代総合病院 南館3階病棟
介護福祉士

おかむら よしえ
岡村 淑恵

患者さんの在宅復帰をめざして

私が勤務している回復期リハビリテーション病棟は、脳神経外科・整形外科の患者さんを中心に、在宅復帰・社会復帰に向けてリハビリテーションを行う病棟です。自立支援を行う現場で介護福祉士として深く

関わりたいと思い、一昨年から勤務しています。元々音楽が好きで、日本音楽療法学会認定音楽療法士としても業務に携わっています。現在、介護福祉士の業務として、日々の入浴訓練や、離床拡大と心身の賦活を目的として「毎日レクリエーション」と、病棟看護師も交えた「月1レ

クリエーション」を行なっています。そのほかに月1回、作業療法士・言語聴覚士と一緒に「音楽レクリエーション」を行なっています。リズムに合わせて発声練習を行い、口の周りの筋肉を動かし、その応用で歌唱します。



▲音楽レクリエーションでのキーボード演奏（写真中央）

曲に合わせて体操を行なった後、鈴を用いて合奏も行います。音楽療法という言葉自体、あまり耳なじみがない方も多いかと思いますが、音楽を通して患者さんの生活の質の向上や、できることを増やしていきたい

と思います。また、介護福祉士としても、福祉用具研修に運営委員として昨年携わらせていただいています。他の事業所の方との意見交換は刺激が多く、「認定介護福祉士の資格を取りたい」という目標もできました。介護福祉士は、「衣食住」、人が生きる上で必要な場面に最も

近い位置で自立支援ができる職種だと思います。日々リハビリテーションに取り組まれる患者さんが、「できた!!」と笑顔で退院できるよう、周りへの感謝を大事にして、日々自己研鑽に努めていきたいと思っています。



南館3階病棟 師長

はにゅうだ あいこ
羽生田愛子

紹介者から

岡村介護福祉士は、2021（令和3）年10月より、当院回復期リハビリテーション病棟で勤務しています。音楽療法士の資格を持っているため、私が回復期の目標としているリハビリテーション以外の離床促しを目的とした「毎日レクリエーション」の開催や、月1回の音楽レクリエーションの中心となり、他職種と連携しながら内容充実をはかり進めてくれています。患者さんに対してとても丁寧に穏やかに接し、日々の業務に真摯に取り組んでくれています。当病棟で介護福祉士のリーダーとして、福祉用具研修や新卒の介護福祉士の教育にも尽力しており、本当に頼りにしています。今後の更なる活躍を期待します。

自宅での生活を継続するために 佐久総合病院 2 老人保健施設の通所リハビリ

佐久総合病院



佐久総合病院老人保健施設
社会福祉士・精神保健福祉士

坪井 景子

一人ひとりに合わせた リハビリ

当院は、佐久総合病院老人保健施設と老人保健施設こうみを有し、経験豊富なリハビリスタッフがそれぞれ9名と8名在籍しています。入院加療後にリハビリテーションの継続が必要なときや、生活のなかで日常の動作が困難となりリハビリテーションが必要となる際、週1〜3回デイケアに通っていただき個別リハビリを実施しています。

通所リハビリテーションは、利用者さんが可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、ご本人が施設(老人保健施設、病院、診療所など)に通い、食事や入浴など日常生活の支援や生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上の訓練などを日帰りで受けられる介護保険サービスです。要支援1・2、要介護1〜5の方の利用が可能です。

個別リハビリは、1回20分程度(短期集中リハビリ該当者は40分程度)です。利用者さんの目標をもとに計画を立てており、最近では、月1回リハビリ



▲トマトの苗を支柱に括りつけている様子

佐久総合病院



り会議を開催しケアマネジャーや関係事業所とともに状態を確認しながら今後の目標を決める利用者さんも増えています。筋力強化訓練や歩行練習のほか、トイレ動作など日常生活の練習、福祉用具の選定、デイケア室の外にある畑での作業など、一人ひとりの状態に合わせて実施しています。

リハビリのほか、入浴(一般浴・機械浴)や医療処置、口腔機能向上サービスも受けられます。



▲佐久老健のぶどう畑での作業

また、社会的交流の場(アクティビティやレクリエーション)としてもご利用いただいています。

ご利用にあたり

デイケアのご利用は、主治医からの紹介状が必要となります。希望される際は主治医にご相談いただくとともに、担当ケアマネジャーまたはお近くの地域包括支援センターにご相談ください。事前に当施設の様子を知りたい方は見学も可能ですので、支援相談員までお問い合わせください。



JA長野厚生連は、地産地消に積極的に取り組んでいます。



北アルプス
医療センター
あづみ病院



栄養科長代理

あかはね ともみ
赤羽 知美



今回の主たる食材

さつまいも

さつまいもは収穫後に1~2カ月間貯蔵して乾燥させ、甘味を凝縮してから出荷されます。出荷のピークは10月~1月で、日本で栽培されているさつまいもは約40種あります。食感や甘味の違いを味わってみるのも楽しい食材です。

食材の栄養価と特徴

ビタミン・ミネラルが豊富！ 整腸効果の高い特有成分も！

皮膚のシミやしわを防ぐビタミンC、疲労回復効果のあるビタミンB群。むくみを解消してくれるカリウムのほかに、便秘改善の食物繊維や「ヤラピン」というさつまいも特有の栄養成分も含んでいます。「ヤラピン」はさつまいもを切ったときに出てくる白い液体で、腸の働きを促進したり、便を柔らかくする効果があります。

さつまいもの栄養価
(皮付き可食部100gあたり)

エネルギー：140kcal
たんぱく質：0.9g
ビタミンC：25mg
カリウム：380mg
食物繊維総量：2.8g

レシピ

さつまいもと豚肉の甘辛炒め

さつまいもを豚肉と炒めて甘辛味に仕上げます。ご飯に合う味付けで、満足感の高い一品です。

材料
(2人分)

- さつまいも 180g (皮付きのまま)
- 豚もも肉薄切り 150g
- しめじ 70g
- 塩コショウ 少々
- 薄力粉 小さじ1
- サラダ油 小さじ1
- ※ みりん 大さじ1
- ※ 酒 大さじ1
- ※ 濃口醤油 大さじ2/3
- ※ 砂糖 小さじ1
- 白いりごま お好みで

作り方

- ① さつまいもはよく洗い、皮付きのまま乱切りにして水に5分ほどさらした後、軽く水気を切って耐熱皿に入れ、ふんわりとラップをして600Wの電子レンジで5分加熱する。
- ② しめじは石づきを取って小房にほぐし、豚肉は軽く塩コショウをして小麦粉を薄くまぶす。※の調味料は合わせておく。
- ③ フライパンを中火で熱し、サラダ油を入れ、豚肉としめじを炒めて火を通す。
- ④ ③のフライパンに①で加熱したさつまいもと※の調味料を入れて炒め合わせる。
- ⑤ 全体に味がなじんだら、器に盛りつけ好みで白いりごまをふり完成。

調理のPOINT!

さつまいもはぜひ皮ごと食べましょう。灰汁^{あく}抜きのために水にさらすのは5分以内で！ 水に溶けやすいビタミンCなどを逃がしすぎないようにします。

各種調味料は、地元のA・コープ店舗より購入し使用しています。



健康

鹿教湯三才山
リハビリテーションセンター鹿教湯病院
健康管理科



鹿教湯三才山
リハビリテーション
センター
鹿教湯病院



相談

とみ おか こ
富岡あき子

おいしい秋本番 食中毒にご用心

山や海の幸がおいしい季節となりました。この季節に気をつけたい食中毒があります。食中毒対策を万全に秋のおいしい味覚を楽しみましょう。

Q1. これからの季節に 気をつける食中毒は？

秋から冬にかけ食べ物が原因で気をつけなければいけない食中毒に、ノロウイルス（貝類）などがあります。ノロウイルスに感染すると、12時間から72時間以内に、腹痛、下痢、嘔吐、発熱、頭痛などの感染性胃腸炎を引き起こします。

ノロウイルス：二枚貝の汚染

- 海中でカキの中腸腺に濃縮・蓄積される



カキ以外の二枚貝
輸入魚介類

シジミ : 40%
アサリ : 25%
ハマグリ : 20%
アカガイ : 19%

※数値は2枚貝のノロウイルス保有率を示す

- サザエやアワビなどの一枚貝は汚染は少ない

Q2. ノロウイルスによる 感染性胃腸炎の予防方法は？

感染性胃腸炎の代表ともいえるノロウイルスは、カキなどの二枚貝に含まれ、11月から3月に流行します。少量のウイルスでも感染する感染力の強いウイルスで、乾燥・酸・水中・低温に強く、こうした環境下でも長生きします。

またアルコールに耐性があるため、アルコール消毒では効果が期待できません。ノロウイルスは、カキの食品管理上の問題ではなく、個体に蓄積しているか・していないかで決まるため、すべてのカキに注意が必要といえます。ノロウイルスは加熱処理で死滅するので、予防方法として、カキなどの二枚貝を食べる際には、85度以上で1分間以上しっかり中心部（特にウイルスが濃縮・蓄積されている中腸腺）まで加熱することをお勧めします。

感染性胃腸炎の感染が疑われる人の吐物や便を介しても感染するため、汚染した環境（床や寝具など）や衣類などの取り扱いには十分な注意が必要です。不織布マスクと使い捨ての手袋などを着用し、吐しゃ物などの汚染物を排除した後、水500mlに次亜塩素酸ナトリウム1.5mlを入れた希釈液で消毒します。漂白されてしまう物については、スチームアイロンを2分以上当ててことで表面温度が85度となり、消毒することができます。

食物が原因となる感染症

原因微生物	食物	季節
黄色ブドウ球菌	ハム、鶏肉、汚染した食物（卵、サラダなど）	夏
セレウス菌	（嘔吐型）チャーハン、（下痢型）肉、野菜	通年
ウエルシュ菌	牛肉、鶏肉	夏以外
ビブリオ属	海産物、特に生ガキ	春、夏
カンピロバクター	火が通っていない鶏肉や牛肉、低温殺菌されていない牛乳	春、夏
サルモネラ属菌	火が通っていない鶏肉などの肉、卵、爬虫類（特にカメ）	夏、秋
腸管出血性大腸菌	ひき肉、牛肉	夏、秋
プレジオモナス属	海産物、特に生ガキ	通年
エドワールジエラ属	淡水	通年
アエロモナス属	淡水・海水、魚、魚の卵など	夏
シゲラ属（赤痢菌）	汚染した食物（卵、サラダなど）、ハエが媒介	夏
リステリア属	生野菜、未殺菌の牛乳、チーズ、冷凍や新鮮な肉	通年
ノロウイルス	貝類	冬

佐久総合病院 看護専門学校だより

佐久総合病院看護専門学校



佐久総合病院看護専門学校のご紹介

今回は本校の特色や学習環境についてご紹介します。ぜひ、ともに学びませんか！

本校の特色

1. 長野県内厚生連病院への完全就職
2. JA長野厚生連奨学金制度で在学中の経済的負担軽減
3. 佐久総合病院グループ施設を中心に、県下最大規模の充実した環境で実習が可能
4. 寮や自校給食で学生生活を完全サポート



オープンキャンパス学生相談コーナー
(高校生と本校学生)

学習環境に関する取り組み

1 独自のカリキュラム

昨年度よりカリキュラム(教育計画・課程)が変わり2年目を迎え、さらに充実してきました。このカリキュラムでは、地域の人々の暮らしに密着した看護をめざすことを目的として、縦割りの教育から人の一生を考えようで連続的・継続的な看護実践に結び付けられる学習内容としました。また、どの科目も自主性とコミュニケーション能力向上に繋がる工夫をしています。

2 一歩進んだ看護教育に関する通信技術活用

パソコンなどを用いて電子教科書使用や学習成果の可視化、教員との対話など通信技術を教育に活用し、質の向上や教員と学生間のコミュニケーションツールとして利用しています。

3 きめ細やかな教育実践と万全なサポート体制の構築

教員が少数の学生に対して行うきめ細やかな指導・教育体制に加え、学年を越えた学生間で仲間を支え合う体制を確立し、自主性と協調性を育てていきます。学習面だけでなく、生活面での相談など、困ったときにいつでも相談しやすい環境を整えています。



本校卒業生から3年生に向けて激励メッセージ
(卒業生とのつながり)



実習まとめ発表会で活発に議論する様子(1年生)

2024(令和6)年度 入学試験の概要

2023(令和5)年
11月30日(木)~12月7日(木)

必着

詳しくはホームページをご覧ください。



佐久看護 入学試験情報
佐久看護 入学試験情報
佐久看護 入学試験情報
佐久看護 入学試験情報

2年越しの夏祭り

—— 浅間南麓こもろ医療センター



老人保健施設「こまくさ」の夏祭り
が戻ってきました。新型コロナウイルス
が5類に移行して行動範囲が緩和さ
れ、明るい兆しが見えてきたなかでこ
まくさも夏祭り開催を検討しました。

夏祭りの目的は3つあります。1つ
目は今まで自宅へ帰れることを願ひり
ハビリを頑張ってきたご利用者に余暇
を提供し気分転換していただくことで、
2つ目は四季を感じてもらうことです。
いつもエアコンの効いた快適空間で生
活されているため、季節感が分からな
くなってしまつたことで自宅へ帰ったと
きにギャップを感じてしまつた可能性が
あるからです。3つ目はご家族にこま
くさを知ってもらつたため来所してもら
うことです。スタッフがどのようにご
利用者に関わっているか見て安心して
いただき、信頼に繋げるためです。今
年度は、入所者、デイケア利用者のみ
で行つこととなりました。

入所者にご利用の方の作品展示を
見て散歩をして、栄養士の協力を得て
かき氷とポップコーンを配りました。
ポップコーンは砂糖でコーティングす



▲こまくさ職員
(左から三番目 中田先生)

るによりサクサクして歯が弱い方
でも食べやすくっており、ご利用者
からの希望も多くポップコーンも大盛
況でした。かき氷は灼熱のテントのな
か、お祭りの音楽を流し施設長の中田
先生自ら笑顔でご利用者の皆さんに
配っていました。デイケアでは輪投げ、
釣り堀などのレクリエーション、ソフ
トクリームで少しでも「夏」を感じて
もらう祭りとなりましたが、ご利用者
の皆さんの喜びの声や笑顔を見ること
ができたことを嬉しく思います。
今回開催するにあたり夏祭りを盛
り上げようと協力してくださつた皆さ
まに感謝の気持ちでいっぱいです。

本会職員ユニフォームの統一を行いました

—— JA長野厚生連 本所



JA長野厚生連は、このたび本
会職員のユニフォーム統一を行いま
した。このプロジェクトは、全
事業所統一による会全体としての
一体感と自身の仕事に責任や緊
張感を持ち、仕事に対するモチ
ベーションアップに繋げること、
併せてコスト削減を目的に、各職
種において部会を立ち上げ検討
しました。

2020（令和2）年に看護部
（介護福祉士含む）からスタート
し、薬剤部、診療協力部（診療放



▲統一したユニフォーム（一部紹介：左から看護部、診療協力部（臨床工学）、薬剤部、介護福祉士）

射線・臨床検査・臨床工学・栄養
士・リハビリ）で、各事業所代表
者が部会メンバーとなり検討を
開始。話し合いを重ね、2022
（令和4）年4月から看護部・薬
剤部、2023（令和5）年4月
からは診療協力部で、各事業所
において順次更新を行なってい
ます。

他職種も含め引き続き検討を
行なっていくますが、今後も地域
住民の皆さまに安心できる医療が
提供できるよう努めてまいります。

長野県長野で

第一線の地域医療を

私たちと実践してみませんか。



医師募集

私たちと一緒に、地域医療を実践しませんか。

長野県は低医療費・長寿で有名です。本会は県下に13病院を有し、救命救急センターや周産期母子医療センター、がん診療連携拠点病院などさまざまな指定を受け、保健・医療・福祉活動を包括的に展開し、その一翼を担っています。

信州の自然豊かな環境のなかで、四季折々の変化を存分に感じながら、一緒に地域医療を実践しませんか。

看護師募集

夢が実現できる
看護職のキャリア形成を支援します!!

- 新人看護職の卒後研修が充実しています
- 再就職支援をさまざまな形でなっています
- 院内保育所や育児介護支援制度などがあります
- 認定看護師など資格取得を支援します

薬剤師・医療技術職 随時募集中

地域医療を担うメンバーとして
共に歩んでみませんか

お問い合わせは下記または各病院まで

長野県厚生農業協同組合連合会 人材確保対策室 人材確保対策課

〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3 (JA長野ビル10階)

☎026-236-2305 E-mail:saiyo@kou.nn-ja.or.jp FAX:026-236-2307



JA長野厚生連
facebookのご案内

当会の活動や情報など、
随時情報発信しています。
ぜひ、ご覧ください。



編集後記

今年は暑い夏でした。年々暑さが増している日々が続いているように思います。これからは四季が無く二季になるとも言われていますが、春夏秋冬ごとに楽しめるような日々を過ごしていきたいです。(A・Y)

「厚生連ながの」の感想をお聞かせください。

JA長野厚生連 本所「厚生連ながの」係
〒380-0826 長野県長野市南長野北石堂町1177番地3 (JA長野ビル)
FAX: 026-236-2307
E-mail:info.honsyo@kou.nn-ja.or.jp

表紙のひとこと

「紅い散歩道」

撮影者：佐久総合病院
佐久医療センター
みつし てつや
三石 哲也

寒さが厳しくなり、紅葉がピークの時に地元の公園で撮影した1枚です。昼過ぎの柔らかい光が差し込んでくる中、空気の冷たさ、落ち葉の音や匂いを感じながら撮影しました。



- 佐久総合病院 ☎0267-82-3131
- 佐久医療センター ☎0267-62-8181
- 小海分院 ☎0267-92-2077
- 浅間南麓こもろ医療センター ☎0267-22-1070
- 北アルプス医療センター あづみ病院 ☎0261-62-3166

- 長野松代総合病院 ☎026-278-2031
- 附属若穂病院 ☎026-282-7111
- 北信総合病院 ☎0269-22-2151
- 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 鹿教湯病院 ☎0268-44-2111

- 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 ☎026-292-2261
- 新町病院 ☎026-262-3111
- 富士見高原医療福祉センター 富士見高原病院 ☎0266-62-3030

- 下伊那厚生病院 ☎0265-35-7511
- 長野PET画像診断センター ☎026-269-0550
- 健康管理センター ☎0267-82-2677
- 佐久総合病院看護専門学校 ☎0267-82-2474
- JA長野厚生連 本所 ☎026-236-2305

https://nagano-kouseiren.jp

